

**警告**

毒性ガスに使用される場合は除害装置への排気を行い、図1のベントでの排気は行わないでください。

- 6) 使用済みフィルターの回収および廃棄は、関連法規に従って処分してください。反応性ガスや有毒ガスに使用された場合は、処分前に無害化処理を行ってください。
- 7) 装着用のフィルターの配管接続部を清浄に保ち、損傷や摩擦の有無を確認し、必要であれば部品を交換してください。継手やナット(場合によってはフェールル)は、フィルターの継手と互換性のあるものを使用してください。
- 8) 大気の配管内拡散を防止するため、一次側のバルブを少し開けて、わずかなバージを行いながらフィルターを装着してください。この時、使用ガスの流れがフィルターの流れの指示方向に一致していることを確認してください。接続部が十分にシールされていることをヘリウムリークテスター等で確認してください。

**警告**

特に毒性ガスに使用される場合には、ヘリウムリークテスト等を行い、シールが完全であることを確認してください。

- 9) 配管のベントバルブを閉じてください。(ベントバルブがある場合)
- 10) フィルターの一次側バルブをゆっくりと開けてください。
- 11) 二次側バルブを開けてください。
- 12) バイパスバルブが開いている場合には閉じてください。実際にご使用になる前に、フィルター交換時に混入する可能性のある異物は、フラッシングであらかじめ除去してください。

これで装着または交換作業は終了です。

5

フィルターの保証

フィルターの保証条件は、以下の通りです。以下の条件は、お客様との間で本内容を適用しない旨の書面の合意がなされない限り、適用されます。

1) 適用の除外

当社は、フィルターの商品性及び特定目的への適合性について一切の保証をしないほか、本内容に規定する保証以外の保証は、黙示的にも明示的にも一切行わないものとします。

2) 保証期間

当社は、フィルターの納入日(出荷日の翌日)を納入日とする)から12ヵ月間(以下「保証期間」という)、フィルターが適切に設置、維持管理され、所定の規格、仕様、設計条件に従って使用される場合に限り、フィルターに材質上及び製造上の欠陥がないことを保証します。

3) 保証の限度

当社は、保証期間中に欠陥が発見されたフィルターについては、その選択により、これを交換し、修理し又は販売代金を返還いたしますが、当社の責任はこれに限定されるものとします。

4) 通知と返却

使用の際に欠陥に気付いた場合は当社へ速やかに連絡し、当社が欠陥を主張されたフィルターを検査する機会を得るものとします。

また、欠陥されたフィルターを検査する機会を得るものとします。また、欠陥があると主張するフィルターの請求書の原本を当社に提供し、当社の工場又は当社の指定する施設までの返品に要する運賃を前払して頂くものとします。欠陥の申立てに際して、欠陥の発生状況について説明(必要な場合はシステムの使用状況も含む)を頂くものとします。

5) 免責事項

当社は、第三者が当社の工場外で変更を加えたフィルターの欠陥、誤使用、濫用、不適切な設置・使用・維持管理・修理・改変・事故によるフィルターの欠陥及びフィルターの使用、保管、運送その他取扱いに当たり、お客様の過失により発生したフィルターの欠陥について、一切責任を負わないものとします。

6) 免責範囲

当社は、上記に規定する場合を除き、フィルターの製造、梱包、引渡、保管、使用、誤使用若しくは不使用その他の事由により生ずる損害(間接損害や結果損害を含む)については、一切責任を負わないものとします。

**日本ポール株式会社**

ポール・ガスフィルター 取扱説明書

このたびは、ポール・ガスフィルターをご購入いただき誠にありがとうございます。

本書にはポール・ガスフィルターに関する情報が記載されています。製品を正しく、安全に使っていただくために、ご使用になる前に必ず本書をお読みください。また、いつでもご覧になれるように、お手元に保管してください。ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください。

目次

1. 仕様	1
2. 梱包、包装	2
3. 装着	3
4. フィルターの装着と交換	3~4
5. フィルターの保証	5

**日本ポール株式会社**

〒163-1325 東京都新宿区西新宿 6-5-1

マイクロエレクトロニクス事業部 TEL.03(6901)5700

プロセステクノロジー事業部 TEL.03(6901)5780

1 仕様

本製品のろ過精度、圧力損失、温度等の技術データは各製品カタログをご参照ください。

⚠注意

本製品は米国または中国製です。製品に表示されている設計圧力あるいは最高使用圧力は、日本の「高圧ガス保安法」適用外で使用される場合のものです。日本国内で使用される場合は、最高使用圧力1 MPaG未満で使用してください。

製品名	製品型式	最高使用圧力	製品表示圧力
ガスクリーン (Gaskleen)	GLF6101タイプ SGLF6101タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 121°C)
PFAガスクリーン (PFA Gaskleen)	GLFPF6101タイプ SGLFPF6101タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 121°C)
ハイフロー・ミニ・ガスクリーン (Hi-Flow Mini-Gaskleen)	GLFPF3101タイプ GLFPF3102タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	3000PSIG[20.7 MPaG] (at 38°C)
ガスクリーンAN (Gaskleen AN)	GLFPF6401タイプ SGLFPF6401タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 121°C)
ガスクリーンIV (Gaskleen IV)	GLFPF6402タイプ SGLFPF6402タイプ	1 MPaG未満(at 140°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 121°C)
ガスクリーンV (Gaskleen V)	GLFPF650タイプ SGLFPF650タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 38°C)
ウルトラメット-L-VE (Ultramet-L VE)	GLFF4タイプ GLFF45タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	3000PSIG[20.7 MPaG] (at 38°C)
ウルトラメット-L 5500シリーズ (Ultramet-L 5500 Series)	GLFF5500タイプ SGLFF5500タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 38°C)
ウルトラメット-L 6600シリーズ (Ultramet-L 6600 Series)	GLFF6601タイプ GLFF6602タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	750PSIG[5.15 MPaG] (at 38°C)
ミニ・ウルトラメット-L-VE (Mini Ultramet-L VE)	GLFF2340タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	3000PSIG[20.7 MPaG] (at 38°C)
ミニ・ウルトラメット-L 1100シリーズ (Mini Ultramet-L 1100 Series)	GLFF1102タイプ	1 MPaG未満(at 40°C)	3000PSIG[20.7 MPaG] (at 38°C)
ガスクリーン・ライト (Gaskleen Light)	TFA3タイプ (SITFA6タイプ)	1 MPaG未満(at 40°C)	3000PSIG[20.7 MPaG](at 122°C) 750PSIG[5.2 MPaG](at 140°C)

2 梱包、包装

フィルターは損傷を防ぐために、個別の箱に2重包装で梱包されています。箱を開け、外側のアルミラミネート袋(湿気防止用)からフィルター本体を、内側のポリ袋に包んだままの状態を取り出して下さい。この時、ポリ袋に穴を開けないように注意してください。このアルミラミネート袋はクリーンルームでゴミにならないよう、中に持ち込まないでください。ポリ袋に入れたままクリーンルームに持ち込み、装着直前に開封してください。実際にフィルターを装着するまでは、シール面を保護するための両端の保護キャップを取り外さないでください。袋の中は窒素パージ済みであり、袋、フィルター本体とも清浄な状態を保っています。

3

装着

図1はベントバルブ(排気バルブ)を用いた非毒性ガスのフィルター装着例です。

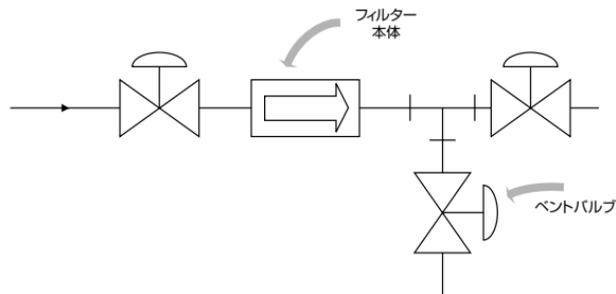


図1

4

フィルターの装着と交換

⚠警告

腐食性ガスに使用する場合は、使用状況に合った期間を設定し、定期交換をしてください。交換をしないで使用を続けた場合、腐食により、フィルター本体が破壊される危険があります。

以下の手順でフィルターを装着または交換してください。

- 1) 毒性ガスの場合には、窒素またはアルゴン系の不活性ガスでパージしてください。パージの頻度や時間はガスにより異なります。
- 2) ガスの供給が交換時に不要で、配管にパイパスがある場合にはバルブを閉じてください。
- 3) フィルターの二次側バルブを閉じてください。
- 4) フィルターの一次側バルブを閉じてください。
- 5) フィルター内の圧力を抜くために、配管のベントバルブをゆっくりと開けてください。ベントバルブがない場合には、フィルター内の圧力を抜くために、ゆっくりと接続部のネジを緩めてください。

⚠注意

ガス種によっては再液化するものや、ろ材に付着するものがあります。日常の配管の保守点検を確実に実行してください。また、樹脂材などを特定条件下で劣化させる危険があるガス種の場合は、定期交換をしてください。

フィルターは装着時に、装置設置場所内で内側のポリ袋から取り出してください。

⚠注意

両端の保護キャップは注意して外してください。また保護キャップの脱着を繰り返しますと、フィルター内に粒子を混入させる原因になりますので避けてください。

両端のシーリング表面に物が接触しますと損傷の原因になりますので避けてください。